



SCB

ニュース&トピックス

No.2026-68

(2026.10.28)

信金中金総研

上席主任研究員 刀禰 和之 とね かずゆき

03-5202-7671

s1000790@facetoface.ne.jp

飯田信用金庫の営業店平日休業の実施

ポイント

- 長野県飯田市に本店を置く飯田信用金庫は、2026年6月から南部ブロック内の3支店（新野支店・天龍支店・南信濃支店）で平日休業を開始した。
- 平日休業の実施店舗のうち、火・木曜営業の新野支店職員は、休業日である月・水・金曜日について母店（阿南支店）などで勤務している。
- また、天龍支店は火・木曜営業、南信濃支店は月・水・金曜営業のため、支店職員5人は2店舗を交互に勤務している。
- 営業店平日休業の実施から4か月が経過したが、これまで特段の問題やトラブルは生じていない。

1. 平日休業店舗の導入

長野県飯田市に本店を置く飯田信用金庫は、2026年6月から一部店舗で平日休業を開始した（図表1・2）。同金庫は2025年4月にスタートした第10次中期経営計画で「人がつなぐ、未来へつなぐ」をテーマに「コミュニケーションプラットフォーム機能の発揮」を重点課題に掲げる。顧客や地域に対する情報発信力・課題解決能力をさらに高め、顧客からこれからも必要とされ、地域に無くてはならない存在を目指している。

その一方で、本店所在地から離れた一部地域については、近年の採用難などを背景に人繰り面で店舗運営が困難になりつつあった。また、来店客数も年々減少しており、店舗採算の面からみると厳しい状況にあった。

こうした状況を勘案し、同金庫は長野県内金融機関では初となる平日休業店舗を一部店舗で実施することとした。なお店舗ATMについては平日休業日も通常通りの時間帯で稼働させている。

（図表1）同金庫概要（2025年度末）

本店所在地	長野県飯田市
創立	1925（大正14）年9月
預金残高	6,216億19百万円
貸出金残高	2,702億17百万円
店舗数	23店舗
常勤役員数	348人

（図表2）同金庫本店



（備考）図表1は信金中金総研作成。図表2は同金庫提供

2. 仕組み

同金庫が営業店平日休業を開始したのは、南部ブロック内の3支店である。同ブロックは阿南支店、新野支店、天龍支店、南信濃支店の4店舗からなり、阿南支店がフルバンク機能を有する母店、残る3支店は預金中心の機能特化型店に位置付けられる。本店のある飯田市内から車で1時間半程度かかるため、急な職員休暇時の対応などを含めた人員配置面に課題があった。

6月以降の店舗体制は以下のとおりである（図表3）。

【阿南支店】：フルバンク機能を有する母店で人員は支店長以下9人である。南部ブロックの母店の位置付けで、必要に応じて3店舗の応援などを行っている。

【新野支店】：火曜日と木曜日を営業日とし、月・水・金曜は休業日となる。人員は役席以下の3人で、休業日は阿南支店などで勤務する。

【天龍支店・南信濃支店】：支店長以下5人で運営する。天龍支店の営業日が火曜日と木曜日、南信濃支店は月・水・金曜を営業日とするため、支店職員は交互に両支店で勤務する。

3支店の営業日の決定は、預貸金のボリュームや来店客数を参考とした。また営業日が祝日の場合は休業日とし、年金受給日などと休業日が重なった際も休業日としている。

（図表3）4支店の営業日など

支店名	営 業 日					陣 容	備 考
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日		
阿南支店	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業	9人	母店の扱い
新野支店	休業日	通常営業	休業日	通常営業	休業日	3人	月・水・金は阿南支店で勤務
天龍支店	休業日	通常営業	休業日	通常営業	休業日	5人	2支店の営業日に勤務
南信濃支店	通常営業	休業日	通常営業	休業日	通常営業		

（備考）同金庫資料より信金中金総研作成

3. 職員の感想等

平日休業店舗に配置される職員の多くが過去にこれらの店舗への勤務経験を有すること、同金庫は営業店事務処理などで各店独自のローカルルールを解消済みであることなどから、曜日によって勤務する支店が変わることへの苦労や戸惑いは少ないようである。人繰りの面で余裕が生まれたため、有給休暇の取得を含めた柔軟な働き方を享受しやすくなったとの意見も職員から出ている。

4. 平日休業の影響

営業店平日休業の実施から4か月が経過したが、直接的な預貸金のボリューム減少など顕著な影響はみられない。また、これまで特段の問題やトラブルも生じていない。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。